

いちい 7月②



岐南中学校教育目標
自分や仲間の
夢や希望の実現のために
自ら動く

全校研究授業（2年6組 家庭科：羽田野教諭）を行いました！



岐南中学校では「分かった」「できた」と実感でき、自ら学ぶ生徒に高める授業づくりをめざして全校教職員で授業研究を進めています。その第一回目の研究授業を2年6組の家庭科（羽田野教諭）で行いました。今回は、コロナ感染防止対策のため例年のように全教職員が集まって授業を参観する形はとらず、校長、教頭と研究推進委員、岐阜教育事務所からの指導主事の参観に限った研究授業となりました。学校が再開して間もないところですが、ピリッとした中にも温かい雰囲気を感じる授業でした。



授業では、「災害時に役立つ防災ポーチづくり」という題材で、本時は、「防災ポーチに入れる小物選びについて、どんなことを大切にしたらよいか」を考える授業でした。事前に考えた小物とそれを入れる理由から4つの視点に分類しながら意見交流をしました。自分の生活に合わせて考えた意見や自分の体のことを考えた鋭い意見が飛び交いました。先生の指示にテキパキと応え、付箋による分類分けやお互いの意見交流など、集中して取り組む学習姿勢に感心させられました。普段から日常生活を大切にしており、日常生活のありがたが授業の姿とつながっていると実感する瞬間でした。



羽島郡二町教育委員会 教育長様も参観にみえ、集中して取り組む姿勢に今後の活躍を期待されてみえました。

授業後は、先生たちもよりよい授業づくりをめざし

て、本時の授業の振り返りをしました。

また、本時の授業の様子は、のちほど全校教職員で共有し、各自の教科の研究推進につなげていきます。

今後も生徒のみなさんが主体となって学習に取り組める授業づくりに努めていきます。

2年6組のみなさん、貴重な時間をありがとうございました。

